

# 令和2年生駒市教育委員会第10回定例会会議録

1 日 時 令和2年10月26日(月) 午前9時30分～午前11時26分

2 場 所 生駒市役所 401・402 会議室

## 3 審査事項

- (1) 報告第23号 臨時代理につき承認を求めることについて（令和2年生駒市議会第7回（9月）定例会提出議案の意見について）
- (2) 報告第24号 令和2年生駒市議会第7回（9月）定例会提出議案の結果について
- (3) 報告第25号 令和2年度幼稚園・保育園訪問の結果について
- (4) 報告第26号 令和2年度小学校・中学校訪問の結果について
- (5) 議案第35号 生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方の策定について
- (6) 議案第36号 生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方の策定について

## 4 教育委員会出席者

教育長	中 田 好 昭		
委員（教育長職務代理者）	飯 島 敏 文	委 員	寺 田 詩 子
委員	神 澤 創	委 員	坪 井 美 佐
委員	レイノルズあい	委 員	西 井 久 之
委員	伊 藤 智 子	委 員	古 島 尚 弥

## 5 事務局職員出席者

教育こども部長	奥 田 吉 伸	生涯学習部長	八 重 史 子
教育こども部次長	坂 谷 操	教育総務課長	山 本 英 樹
教育指導課長	前 田 伸 行	学校給食センター所長	財 満 直 也
こども課長	松 田 悟	こども課指導主事	川 田 奈 津 子
こども課指導主事	松 本 裕 美	子育て総合支援センター所長	角 井 智 穂
生涯学習課長	清 水 紀 子	図書館長	西 野 貴 子
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	小 北 敦 志
教育指導課課長補佐	八 代 大 輔	教育指導課課長補佐	日 高 興 人
こども課課長補佐	大 窪 奈 都 子	図書会館副館長	入 井 知 子
教育総務課（書記）	牧 井 望	教育総務課（書記）	鬼 頭 永 実

6 傍聴者 17名

午前9時30分 開会

○開会宣告

○日程第1 前回会議録の承認

○日程第2 教育長報告

- ・新型コロナウイルスに伴う授業時数の確保について、前田教育指導課長より説明  
(質疑)

飯島委員：休校後、授業時数を増やすなどの対応をし、追加で冬休みを返上しなくて良くなったのは、先生方の努力の賜物である。例年と異なる取り運びをしたので、先生方には、子どもたちのスキルや学習状況が、例年から変化した部分がないかという視点で子どもたちを見守っていただきたい。また、コロナ禍によって悪いことばかりなく、子どもたちに良い変化はなかったかという点についても、注意深く見守っていただき、今後  
に生かしていただきたい。

- ・キャリア教育の取組について、日高教育指導課課長補佐より説明  
<参照：資料1>  
(質疑)

伊藤委員：非常に興味深い取組である。希望のあった学校に合わせてオーダーメイドで授業を作ったようだが、8人のゲストに参加いただき、キャリアプランナーの話も聞ける機会なので、他校でも見られれば良いと思った。アーカイブを残し、他校でも視聴できるように対応することは検討しているのか。

日高課長補佐：今回は、希望のあったあすか野小学校でモデル的に実施した。来年度以降は他校にも拡大していきたいと考えている。今年度も校長会の都度、キャリア教育の取組を紹介しているため、周知は図れている。各校で都合が合えば、実施させていただく。

伊藤委員：動画を残し、他校の児童生徒や先生方が見られるようにすることはできないか。

日高課長補佐：録画をしているが、講師の中には仕事の都合上、公にしたくない方もいるので調整が必要である。可能な範囲で対応したい。

- ・令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果の概要について、前田教育指導課長より説明  
<参照：追加資料1>  
(質疑)

古島委員：「3 不登校児童生徒の状況」は、30日間欠席している児童生徒が対象ということだったが、要件には当てはまらないが、ボーダーラインにいる子も含めると、もう少し増えるのではないかと思う。市内にもタブレットが配備されていく中で、オンラインを活用した形で、先生や子ども同士のコミュニケーションが取れるように、また、その保護者と学校の間でコミュニケーションが取れるように進めていただきたい。

神澤委員：いじめや不登校に対する学校の対応について、児童生徒にアンケートをしていると思う。アンケートには、全体のものと同別のものを分けるなど、様々な対応をしていると思う。聴き取りはどのような方法になっているか伺いたい。

前田課長：いじめに関するアンケートは児童生徒全体に配布している。その中で、「悪口を言われる」などの回答があれば、個別で聴き取りをして、相手と話し合いの機会を設けて良いか、本人に確認した上で、当事者同士で話し合い、問題を解決していく。一度の話し合いで終わらせるのではなく、継続的に経過を見ながら、対応をしている。子どもも細かく書いているので、学校でも細かく確認している。

神澤委員：不登校に関して、いきいきほっとルームの利用は学校によって異なると思う。学校によって利用を促す度合いは変わるかもしれないが、本市の全体的なスタンスを伺いたい。また、欠席日数についても、通算か連続かで、かなり人数が異なると思う。欠席傾向にある児童生徒に対して、今後どのようなアプローチをしていくのか。

前田課長：教育支援施設の利用については、まずは面談をし、状態に合わせて利用を促す。学校とも毎月情報交換し、ほっとルームでの様子を報告したり、学校での様子を聞き、面談をしながら、指導員が日々の生活を見守っている。利用状況については、近辺の学校の児童生徒は通いやすく、利用が多いが、どの学校でも連絡があれば対応する。また、現在の利用者はほとんどが中学生である。

神澤委員：学校訪問にて、スクールカウンセラーやスクールサポーターの状況を聞くと、人数が足りていないという回答がほとんどであった。専門スタッフの増員によって、問題行動の件数も減っていくと思うので、検討をお願いしたい。

坪井委員：今年度について、コロナ禍によって行き渋っている児童生徒の人数は分かるか。

前田課長：学校に調査したが、手元に数字がないため、人数はお伝え出来ない。今年度は日数が少ないので、30日以上になる子は少ないが、先生方に気になる子がいないか、調査したところ、去年不登校気味だった子で、休校を機に来られるようになった子もいれば、今年度の休校によって来づ

らなくなった子もいる。今後も調査を進めながら、状況を確認していきたい。

坪井委員：先生方にも工夫していただき、学校の授業の遅れはなくなってきているが、行事が短縮されるなど、子どもたちにとっての楽しみが減って、子どもたちにゆとりがないように感じる保護者の方もいらっしゃるようだ。子どもに負担がないようにと考えていると思うが、引き続きケアをお願いしたい。

・学校給食配送車のラッピングについて、財満学校給食センター所長より説明

<参照：資料2>

(質疑) なし

・夏期休業中の壱分幼稚園における預かり保育実施に係るアンケート結果について、松田こども課長より説明

<参照：資料3>

(質疑)

寺田委員：預かり保育を夏季休業期間にもするのは、保護者にとって非常に良いと思う。しかし、結果を見ていると予想していたより利用が少ない。利用されなかった理由には、料金が高い、条件が合わないという理由があった。預かり保育の条件とは何か、伺いたい。

松本指導主事：条件については、時間枠を3つ、午前・午後・一日で用意しているので、そのことと思われる。この時間枠はこども園と同じにしているが、時間帯が合わないというお声も実際に頂いている。条件に合わなかったとしている方が、具体的にどのような点が合わなかったのかという設問ができていないため、詳細には分析できない。

寺田委員：時間帯の希望は、遅い時間帯に預けたいということか。

松本指導主事：普段は1時間ごとになっているので、細かい枠なら使いやすいという意見があった。細かい部分は園を通じて保護者の意見を伺いたい。

寺田委員：今後も続けていきたいとあったが、市内のすべての幼稚園に広めるということか。

松田課長：事務局としては、そのようにしたい。

寺田委員：市内に拡大する場合、料金は今回のモデル実施と同額か。やや高いように感じる。

松田課長：預かり保育料の設定については、市議会の市民文教委員会でも検討・研究されている。事務局からもアンケートを実施する予定であり、料金改正については引き続き検討する。

イリス委員：時間枠について、8時30分から預けて12時30分になってしまった場合、一日枠の料金になるのなら高いと思った。1時間ごとの料金設定

の方が公平で利用しやすいと思う。今後市内の他の園にも広げるならば、アンケートやヒアリング結果を参考に、時間と料金のバランスを引き続き検討していただきたい。

伊藤委員：現段階では幼稚園に預けていてフルタイムで働いている方はいないと思うが、今後預かり保育の幅が増えれば、フルタイムを検討する方もいると思う。またパートで働いている方も、お店は夕方が忙しいので、夕方に多く入ってほしいと言われている方も多い。アンケートをする際、どのような時間帯が良いかなど、詳細に聞き取っていただきたい。

・新型コロナウイルス感染症に係る生涯学習施設の対応について、清水生涯学習課長より説明

<参照：資料4>

(質疑)なし

○日程第3 報告第23号 臨時代理につき承認を求めることについて（令和2年生駒市議会第7回（9月）定例会提出議案の意見について）

・財産の取得について、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書p1、資料5>

(質疑)

坪井委員：生徒用タブレット端末を購入した際から、先生用の整備をお願いしていたので、購入されて良かった。550台購入したとのことであるが、割合としてはどのくらいの先生にいきわたるのか。

山本課長：必要台数は全校で800台である。昨年度にも購入しており、残りの550台をこの度購入した。

坪井委員：では、12月9日には、先生に一人一台配布できるのか。

山本課長：そのとおりである。

坪井委員：それに伴う通信環境の整備はできているのか。

山本課長：現在、並行して進めているところである。パソコンが各校に配布されてから、接続の調整が必要なので、実際に使用するのは3学期からとなる予定である。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第4 報告第24号 令和2年生駒市議会第7回（9月）定例会提出議案の結果について

・令和2年生駒市議会第7回（9月）定例会提出議案の結果について、山本教育総務課長から説明。

<参照：議案書p3>

(質疑) なし

審議結果 【報告のとおり承認】

- 日程第5 報告第25号 令和2年度幼稚園・保育園訪問の結果について  
・令和2年度幼稚園・保育園訪問の結果について、松田こども課長から説明  
＜参照：議案書p4＞  
(質疑) なし

審議結果 【報告のとおり承認】

- 日程第6 報告第26号 令和2年度小学校・中学校訪問の結果について  
・令和2年度小学校・中学校訪問の結果について、前田教育指導課長から説明  
＜参照：議案書p4＞  
(質疑)

飯島委員：学校訪問で、授業を拝見した際、ICT機器を使っている学校と、全体としてもう少し使っていただきたい学校があった。学校によっては、隣のクラスと同じ時間割にしており、機器がつながりにくくても、隣のクラス同士で相談し、対応しやすくなるように工夫されていた。非常に些細なことでも、使いやすいような工夫を考えていただきたい。現段階では、電子教材や校務文書がそこまで膨大になっていないため、整理する必要がないと思うが、そのまま使っていくと、データが多くなった時に非常に使いにくくなってしまう。事務局においては、データが少ないうちに、学校との連絡のもと、整理を進めていただきたい。

伊藤委員：委員になって初めて学校訪問に参加し、とても勉強になった。現場の先生方はアンケートや児童生徒との関わりの中で、自分の気持ちを発信すること、コミュニケーション能力、自発性等の発達に強く関心を持っていらっしゃる。現段階では、教科指導外の縦割り活動や文化祭、運動会、児童生徒会において、主体性を重視されている。一昔前より、かなり子どもの自発性が重視されていると感じたが、教科学習の分野においては、これからの課題だと思った。新学習指導要領のもと、教科の中で自発的な活動、主体的な学習をどのように進めていくか、一丸となって考えていかなくてはならない、試行錯誤の段階であると思った。

古島委員：私も初めての学校訪問であった。現職の教員の視点から見ると、報告書にもあったとおり、教職員間の世代の問題として、ミドルリーダーとなる人が少ない点がある。現在40歳後半の年齢は、公立の教員採用がほぼなかった世代で、その少し下の世代も採用が少なかった。実際に学校に行くとやはり圧倒的に30～40歳台が少なく、私自身が普段感じて

いる課題と一致していた。これから10～20年先の生駒市の教育を考えると、ミドルリーダー世代が教育を担っていかなくてはならない。しかしその人数が少ないので、今後どのように活躍していくかが大きな課題だと感じた。事務局において、育成方法、研修等、現段階で考えていることはあるか。

前田課長：ミドルリーダー世代が少ない点は大きな課題である。配置換えがあるため、初任で来られた先生方は、ミドルリーダーの年齢に差し掛かったころに市外に転勤してしまうし、また市外からの転任者にもミドルリーダー世代の方が多い。そのため、初任の先生への研修より、生駒市に勤めているミドルリーダー世代が、生駒市の環境でICT機器を使えるように研修をする必要があると考えている。また、飯島委員からあったように、共通で使用するデータは、どの先生でも使いやすいような環境づくりに努めていく。研修についてもオンラインも活用しながら丁寧に行っていき、お互いICT機器を活用できるようにサポートしていきたい。

寺田委員：幼稚園・保育園はすべて訪問し、小学校も可能な範囲で回った。幼稚園・保育園の先生方の感染症への配慮が手厚く、先生が休む間もないと思うほどで、熱心さに感心した。今後も引き続きお願いしたい。

中田教育長：私も全校・園を回った。コロナ禍における学習状況や不登校状況を心配していたが、不登校はそこまで増えておらず、また、学習状況については、生活リズムの乱れにより、授業に集中できていないのではないかと考えていたが、落ち着いて授業ができていた。特に、新一年生は、入学してすぐ休校してしまい、家庭での過ごし方によっては円滑に授業ができていないと考えていた。しかし、当市での保幼小連携の成果もあり、落ち着いて授業ができており、先生方のご尽力が成果を結んでいると感じた。その反面、先生方に大きな負担がかかっているため、今後先生方の心身の健康面に配慮が必要になる。

## 審議結果 【報告のとおり承認】

### ○日程第7 議案第35号 生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方の策定について

・生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方の策定について、松田こども課長から説明

<参照：議案書p25、別冊1>

(質疑)

飯島委員：前回の総合教育会議において、私の発言の中で、「望ましい規模」や評価表の○×形式について、検討していただいた。検討委員会からの答申を尊重する中で、注記を示すなどの調製をしていただいた。別冊1の1

ページ目には、教育大綱に沿って、生駒市の教育を実現するために努力しているという姿勢が示されており、その取組の一環として、平成30年に「就学前教育・保育のあり方に関する基本方針」を策定し、その基本方針を受けて検討委員会を設置し、検討委員会からの答申を受け、「基本的な考え方」を策定すると紹介されている。私は、「基本的な考え方」とは、答申とは別途で教育委員会の考えを改めて示すものと考えていたが、そうではなく、答申を踏まえて、市民と教育委員会が「協創」してこれから協議していくという姿勢を示したもので、これまでの意見を整理したものとなっている。引用元の検討委員会からの答申は、膨大な資料を添付しているので、都度、その資料を引用しながら今後の議論に生かしたい。本件について、今後ともよろしく願いたい。

#### 審議結果 【原案のとおり可決】

#### ○日程第8 議案第36号 生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方の策定について

- ・生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方の策定について、山本教育総務課長から説明。

<参照：議案書p26、別冊2>

(質疑)

中田教育長：補足であるが、12～13ページにおいて、「対象校区」の定義を示した。委員から頂いた意見について、全て網羅できていないが、事務局において総合的に判断した結果である。

イノムラ委員：前回の総合教育会議からあまり日がない中、前回協議された内容は多岐に渡ったと思うが、再度調整いただいた。小中学校についても、「基本的な考え方」として示すものであり、これをもとに、地域の皆様、関係者と協議していく。4ページの表にある黄色のハイライトは、対象校を示したものと思っていたが、重複している学校を示しているのみであり、ここまで強調する必要が無いと思うので、ハイライトを入れないか、もしくは目立たない色にしていきたい。

中田教育長：意図があるように見えるのは良くないので、適当に修正する。

伊藤委員：12ページに追記された対象校区は、8ページの3、「小学校では生駒南第二小学校、中学校では生駒南中学校に対して望ましい規模確保のための取組が必要とされ、生駒南第二小学校では、生駒南小学校との「学校再編（統合）」が有効な手段の一つとして示されました」と、3校の名前が出てきているが、これらすべてが対象校区と考えて良いか。

中田教育長：中学校はまだ決まってはいない。これから地域に入っていく、関係団体と協議していくのは、生駒南第二小学校、生駒南小学校である。生駒南



中学校は、校区的に関係するが、現段階で再編の対象ではない。校区の再編までするのであれば、その際に対象となるが、答申においては通学区域に言及されておらず、今後の課題とされているため、現段階では対象ではない。ただ、今後地域に入ってから、変わっていく可能性はある。

## 審議結果【原案のとおり可決】

### ○日程第9 その他

・令和2年11月行事予定について、山本教育総務課長、清水生涯学習課長から説明（質疑）

西井委員：「資格をいかそう！相談会」について、私は自治会も関わっていて、回覧するよう配布文書をいただいた。チラシまで見ればわかるが、事業予定表だけでは何の相談会か分からない方が多いと思う。改めて解説を受けたい。

川田指導主事：幼稚園教諭免許や保育士資格を持っている方で、現在働いていない方若しくは取得予定の方を対象に、市役所大会議室で開催するものである。公立保育園、公立幼稚園で1ブースずつ、私立園もブースを作り、具体的な仕事内容や職場の魅力、勤務条件について、質疑していただくものである。説明会を通じて、市内保育施設で働く方を増やす目的がある。

中田教育長：保育士不足の中で、公・私立に関わらず募集するものである。

坪井委員：8日の「夫婦できくトリプルP前向き子育てセミナー」について、夫婦二人で参加するものは初めてかと思うが、いかがか。

角井所長：昨年1回開催しており、2回目の開催である。

坪井委員：以前第2次教育大綱策定に係る総合教育会議の際にも発言したが、夫婦で同じ方向を向いて、共通認識を持って子育てをすることが必要だと思う。父親も行きやすい日程になっていると思うので、今後も引き続きお願いしたい。

・生駒市図書館 Library of the year2020 優秀賞受賞報告について、西野図書館長から説明

<参照：その他追加参考資料1（非公開）>

（質疑） なし

・生駒市民憲章実践推進協議会への推薦について、坪井委員からご質問

坪井委員：生駒市民憲章実践推進協議会への団体等の推薦は、例年今頃かと思う。推薦したい方がいるので、推薦の手順を伺いたい。

中田教育長：市長部局から、教育委員会事務局に問い合わせがあると思うので、その際、ご案内させていただく。

○閉会宣告

午前11時26分 閉会